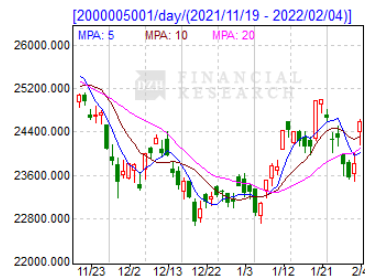




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	35,089.74	-21.42	-0.06	1.05	-3.44	36,338.30
NASDAQ	14,098.01	219.19	1.58	2.38	-9.89	15,644.97
日経225	27,439.99	198.68	0.73	2.70	-4.69	28,791.71
上海総合	3,361.44	—	—	—	-7.65	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,563.77	—	—	—	-7.62	4,940.37
ハンセン	24,573.29	771.03	3.24	4.34	5.02	23,397.67
中国企業	8,584.37	234.42	2.81	4.56	4.23	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は4.3%高と大幅に反発、本土市場は1週間休場

香港市場は旧正月の連休入りのため1月31日が半日立ち会い、2月1-3日が休場。1日半の取引だったが、ハンセン指数は4.3%高と大幅に反発した。1月31日は前週末に約3週ぶり安値を付けた後とあって、値ごろ感の出た銘柄を中心に買い戻しが入って上昇。休場明け4日は連休中のNY市場で中国関連株が上昇したことを受けてほぼ全面高の展開となった。英国の利上げを受けてHSBCが買われ、節目の24000ポイント台を回復した。一方、本土市場は旧正月の連休のため1週間休場だった。

今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、本土市場が1週間ぶりに取引再開

香港市場はしっかりの展開か。新型コロナやウクライナ情勢が懸念材料ではあるが、中国政府が安定成長を維持していく姿勢を示していることが支援材料。先進各国が金融引き締めに向かうなか、中国は金融緩和の方向に向かっており、政策期待が相場を支える展開が予想される。米国の金融政策を巡っては10日に発表される1月の米CPIに注目が集まる。本土市場は連休中の海外市場の上昇を受けて買い安心感が広がりそうだ。上海総合指数は連休前に大きく下げていたこともあり、買い戻しの動きが期待される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 李寧 (02331)	81.10	11.10
2 海底捞国際 (06862)	18.16	10.87
3 創科実業 (00669)	138.40	9.49
4 アリババ集団 (09988)	120.40	9.45
5 美团 (03690)	226.80	9.04
6 BYD (01211)	237.00	7.83
7 安踏体育用品 (02020)	123.90	7.18
8 JDドットコム (09618)	284.80	7.07
9 薬明生物技术 (02269)	79.55	7.07
10 ネットイース (09999)	157.50	5.99

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中電控股 (00002)	78.80	-0.25
2 長江実業地産 (01113)	52.35	0.38
3 Link REIT (00823)	67.05	0.45
4 銀河娛樂 (00027)	46.00	0.55
5 電能実業 (00006)	48.80	0.62
6 パドワイザーAPAC (01876)	21.60	0.70
7 長江インフラ (01038)	48.65	0.83
8 新興能源 (02688)	123.20	0.90
9 長江和記実業 (00001)	55.55	0.91
10 中国中信 (00267)	8.73	0.92

▼今週の主なイベント

- 2月7日(月)
- 【中国】北京冬季五輪(2/4~2/20)
- 2月10日(木)
- 【米国】CPI(1月)

▼今週の期待材料

- ◆景気減速を受けて中国政府が安定成長重視の姿勢強める、景気下支え策への期待が続く公算
- ◆旧正月明けでストックコネクットの南向き取引が再開、本土から香港への資金流入に期待が高まる可能性も
- ◆中国政府が週内にも今年の最重要政策課題を示す「中央1号文件」発表へ、農業関連銘柄に思惑買いも

▼今週の懸念材料

- ◆米雇用統計で非農業部門雇用者数と平均賃金が予想を上回る強い結果に、金融引き締めへの警戒感強まる
- ◆五輪開催中の中国で新型コロナの感染続く、「ゼロコロナ政策」による行動制限が景気の下押し圧力に
- ◆ロシアによるウクライナ侵攻への警戒感くすぶる、ウクライナを巡る情勢の緊迫化が相場の重しに

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ SMIC (00981) : 10日に10-12月期決算を発表、市場予想は39%増益
- ☆ BYD (01211) : 1月の新車販売台数が125%増加、新エネ車は4.6倍に拡大
- ☆ IMAXチャイナ (01970) : 21年本決算は黒字転換の見通し、映画館再開で業績改善
- ☆ 理想汽車 (02015) : 1月の新エネ車納車台数が128%増加、3カ月連続で1万台突破
- ☆ 安踏体育用品 (02020) : 北京冬季五輪が開幕、中国勢の活躍で注目度が高まる公算
- ☆ 薬明生物技术 (02269) : 21年本決算はコロナ関連好調で98%超増益の見通し
- ☆ 小鹏汽車 (09868) : 1月の新エネ車納車台数が115%増加、5カ月連続で1万台超え
- ★ 東亜銀行 (00023) : 香港でコロナ感染が拡大、7日から15支店を臨時休業
- ★ 利福国際 (01212) : そごう銅鑼湾店で従業員がコロナ感染、5-6日に臨時休業
- ★ アリババ集団 (09988) : 米預託証券10億株の追加登録を米証券取引委員会に申請

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。